

迷子になったらどうなるの？

親切な人に保護されたら・・・

ポスターを貼ってくれたり、聞き歩いてくれても、
それで飼い主が見つかるのはごく近所だけです。
迷子犬サイトや愛護センターで探してくれたとしても、
**膨大な数の迷子情報から「似た子」を
探し出すのは、大変な作業です。**
探す方法すら、わからない方もいることでしょう。
せっかくの幸運も「迷子札」や「鑑札」がなければ、
連絡の取りようがありません。



愛護センターの掲示板に貼られた、
たくさんの迷子探しポスター



愛護センターに収容された犬たち

通報されて、警察や愛護センターに 捕獲されたら・・・

保護されても収容期間は**たった数日**です。
その短い数日間に探し当てなければ
殺処分です。
もし首輪の裏に連絡先が書いてあっても、
捕まえられ恐怖に怯えて威嚇でもすれば、
警官・愛護センター職員は**確認できません**。
迷子札・鑑札は必ず表に見えるように
着けなければ意味がありません。

もし悪い人に出会ってしまったら！・・・

悪徳ブリーダーや実験動物業者の手に渡ったり、
毒入りエサを与えられたり、
虐待がニュースになりました。
一番の脅威は、悪意ある人間です。



交通事故にあったら・・・

迷子になると、犬はあわてて

パニック状態になることがあります。

交通事故に遭う可能性も高くなるでしょう。

怪我をして動物病院に運ばれ保護されても、
迷子札・鑑札がなければ探せません。

・・・不運にも『死骸』となってしまった子は
通報されれば『ゴミ』として処分されます。



道路脇に横たわる子・・・



さまよい続けたら・・・

犬が不安なままさまよい続け、

隣の市や県に移動してしまうこともあります。

「帰巢本能で帰ってくる」・・・

ドラマのような奇蹟を信じますか？

空腹で口にしたもので

中毒や病気になるかもしれません。

普段あまり歩かない子や老犬なら、

怪我や疲労で歩くことすら

できなくなるでしょう。

平和に暮らしてきた「家庭犬」が、いきなり「野良犬」になってしまったら・・・
果たしてどれだけ生き延びることができるでしょうか？

空腹、風雨、暑さ寒さ、交通事故、病気、怪我、中毒、そして悪意を持った人間。

私たちが生活している社会は、
犬たちにとっては、大自然の中より過酷な環境なのかもしれません。

まだ『迷子なんて大したことない』と思えますか？